

【プログラム一覧表】

「親の力」をまなびあう学習プログラム ～寄って、話して、自ら気づく～

全体のねらい＜自他の子育てを振り返り学び合うなかで、親が「自ら気づき」「自らまなべる」力を高める。＞

段階 <ねらい>	対象 <ねらい>	教材番号	教材のタイトル <ねらい>
<b>「自分の親は将来の自分」期</b> (子育て準備期) <自分の親子関係を振り返ったり、親となる自分を想像することで、これからの自分の生き方を考える。>	<b>「親はウルサイけどアリガトウ」編</b> (中学・高校生などの青少年対象) <親の立場を想像しこれまでの自分を振り返ることで、これから親となるであろう自分の生き方を考える。>	1	<b>おぎゃーってスゴイ！</b> ～生まれてきた自分、やがて生まれてくる命～ <卵を自分の子供に見立て、命の大切さと、親として命に関わることの責任の重さを実感する。>
		2	<b>親しらず 子しらず</b> ～親子関係を振り返る～ <自分の親子関係を振り返り、親の役割や気持ちについて考える。>
		2-2 Aレンジ版	<b>親しらず 子しらず</b> ～親子関係を振り返る～ <自分の親子関係を振り返り、親の役割や気持ちについて考える。> Aレンジ内容：中学生により身近な内容となっています。
	<b>「自分が親になるなんて」編</b> (まもなく親になる人対象) <生まれてくる命を育む責任を自覚し、パートナーと共に出産・育児を迎える自覚を深める。>	3	<b>おや！ おや？</b> ～自分のあゆみと親のかかわり～ <「自分史」を作るなかで親との関係を振り返り、将来どんな親になりたいかを考える。>
		4	<b>親になるって！？</b> ～命を授かる責任と喜び～ <子供がいる生活を想像し、親になる心構えを持つ。>
		5	<b>妊娠期のカラダとココロ</b> ～パートナーの理解と協力～ <妊娠期の女性の体と心の変化を理解し、男女の相互理解と支え合いの大切さを考える。>
6		<b>出産は初めの一步！</b> ～思い描こう、赤ちゃんのいる生活～ <これから始まる子育て生活への心構えや態勢づくりについて考える。>	
<b>「過ぎてしまえば一番幸せ」期</b> (子育て前期) <子供がいる生活を受け入れるとともに、子供の成育の過程を余裕を持って楽しみ、子供をしっかり受けとめる。>	<b>「ヘトヘトでもニッコリ」編</b> (0～2歳児の親対象) <命を守る責任を自覚し、育児書などマニュアルにしばられない自分らしい子育てをするに自信を持つ。>	7	<b>私の時間、子供の時間</b> ～つくってますか？心のゆとり～ <多忙な育児のなかでゆとりを持ってよう、上手な時間の使い方について考える。>
		8	<b>お付き合いって難しい？！</b> ～「私と周り」の人間関係を考える～ <自分と周囲の人間との関係を良好にすることについて考える。>
		9	<b>ワイワイ、キャーキャー！！</b> ～「子供と遊び」について考える～ <情報や意見を交流し、子供を豊かに育む遊びについて考える。>
	<b>「クタクタでもワツハツハ」編</b> (3～6歳児の親対象) <子供の体と心の育ちにとって必要な要素を考えるとともに、今の子育ての状況を楽しめるような心の余裕を持つ。>	10	<b>買って買って！！</b> ～さあ困った！あなたなら～ <子供の気持ちを受けとめる親の役割の大きさについて考える。>
		10-2 Aレンジ版	<b>こんな時、どうする？</b> ～子供の気持ちを受け止める～ <子供の気持ちを受けとめる親の役割の大きさについて考える。> Aレンジ内容：エピソードを変更し、新たな場面に対応した内容となっています。
		11	<b>〇〇ちゃんがするっ！！</b> ～自我の芽生えと親の思い～ <子供の思いに寄り添い、自主性を伸ばすために、親がどう支援すれば良いかを考える。>
		12	<b>もうすぐ小学生！</b> ～これまでの子育てを振り返る～ <これまでの子育てを振り返り、これからの育て方を考える。>
		12-2 Aレンジ版	<b>もうすぐ小学生！</b> ～期待と不安の中味とは？～ <新入学に向けて親が抱いている子供への期待と不安を整理し、親子で取り組めることについて考える。> Aレンジ内容：小学校入学前に親が抱く子供への期待と不安を整理できる内容となっています。
		13	<b>親子でやってみよう！</b> ～楽しい小学校生活を過ごすために～ <子供が新しい環境に慣れ、小学校生活を楽しく過ごすために、親子で取り組めることについて考える。>
<b>「ワクワク・ドキドキ」編</b> (小学1～3年生の親対象) <子供を多様な価値観で受けとめ、自ら伸びようとする芽を見つけて、成長を支援する。>	14	<b>くらべないで！</b> ～同じ子供なんて一人もない～ <他の子供と比べることの功罪を考え、自分の子が持つかけがえのない価値を再認識する。>	
	15	<b>みなおして！</b> ～多様な視点から子供を見る～ <多様な視点から見るにより、心に余裕が生まれることに気づく。>	
	<b>「子が親離れしていく」編</b> (小学4～6年生の親対象) <子供の心身の変化を理解し、子供の主体性を伸ばす親のあり方について考える。>	16	<b>体と心の変化</b> ～子供の思い、親の戸惑い～ <子供の成長に戸惑う自分自身を見つめ直し、自立しようとする子供の気持ちを理解し支えることについて考える。>
		17	<b>どうする？ どういう？</b> ～子供の人間関係へかかわり～ <子供の交友関係への親の適切なかかわり方について考える。>
	<b>「親が子離れできない」編</b> (中学生・高校生の親対象) <子供が自立しようとするを受け入れ、支援するとともに、親自身の子離れについて考える。>	18	<b>さあ、どっち！？</b> ～信じる、見守る、待つ、聞く～ <反抗期等多様な時期の子どもの様子から、親のより良いコミュニケーションの取り方について考える。>
19		<b>思い出して！</b> ～私にもあった青春時代～ <自分の青春時代を思い出し、子供の思いに寄り添いつつ言葉を届ける術を考える。>	
20		<b>キャッチボールは得意ですか？</b> ～気持ちをつたえる 胸の真ん中でうけとめる～ <進路選択を巡る親子のロールプレイをとおして、子供と気持ちを通じ合うことの難しさ大切さを学ぶ。>	
21		<b>ほどよい距離感って？</b> ～子供の自立と親の自立～ <子供の自立を適切に支援できるような、親の接し方について考える。>	

「再び子育て、そして親育て」期 (子育て支援期) <自分の体験をもとに若い親たちを支援しつつ、共に学ぶ意欲を持つ。>	『『いまだきの親は』なんて言わない』編 (中・高生などの子育て支援者対象) <現代の子育て環境の状況を学びつつ、若い親の子育てを支援する。>	22	よりそって見て…～子育て環境の変化を知る～ <子育て環境の時代変化を知り、現代における子育て支援について考える。>
		23	たちどまって見て…～こんな場面で、あなたなら？～ <子育て中の親子へのわりについて意見交換し、適切な支援のあり方について考える。>
		24	かかわって見て…～地域の大人ができること～ <子供の豊かな成長を促す場をつくるために、地域の大人として何ができるかを考える。>

【テーマ別に開発した教材】★多様化する現代的課題に対応した新規開発教材です。

対象	教材番号	教材のタイトル <ねらい>
乳幼児～高校生の父親	25	お父さんの子育てトーク！～「父親」の楽しみを持ち寄ろう～ <父親として子育てにかかわることの楽しさを語り合い、自分なりにできることを考える。>
小学生～高校生の親	26	スマホ！うちではどうする？！～考えてみて、わか家族のつきあい方～ <子供のスマートフォン利用実態について話し合い、どうすれば子供がスマートフォンと上手に付き合うことができるかを考える。>
小学生～高校生及びその親	26-2 A733版	スマホ時代の子供たち～身につけたいスマホリテラシー～ <デジタル社会の中で、インターネット、スマートフォンを始めとするデジタル機器、SNSなどのコミュニケーションツールの適切な利用法について考える。>
子育て期の親、働く人など	27	向き合ってみて…～「仕事」と「子育て」の調和のために～ <仕事と生活(子育て)の調和を回り、子供や家族と向き合うことの大切さについて考える。>
まもなく親になる人、0～3歳児の親子	28	おひざにだっこでおはなししましょう～絵本をひらいてみませんか？～ <読み聞かせの体験等を通して、子供に対する読み聞かせの大切さを感じ、自分の子育てに取り入れるきっかけとする。>
まもなく親になる人、0～3歳児の親	29	おひざにだっこでおはなししましょう～読み聞かせ、どうしてる？～ <読み聞かせの悩みや工夫などの交流を通して、自分の読み聞かせを振り返るとともに、それぞれの実情に応じて、これからの読み聞かせに生かそうとする。>
中学・高校生などの青少年	30	地域ぐるみで子育て！～親の立場で考えてみよう～ <子育ては親だけで行うものではなく、地域には助けになる施設や人の存在があることに気付くとともに、自分が大人になったとき、親あるいは地域社会の一員として子供とどう関わり、子供をどう育てていくかを考える。>
中学・高校生などの青少年	31	あなたならどうする、どう考える？～親として、地域の一員として～ <将来自分が大人になったとき、どのように子育てや子育て中の親に関わっていきたいかを話し合い、親あるいは地域社会の一員として、子供や親と関わっていくことの大切さについて考える。>

【親子コミュニケーション応援編】★子供の気持ちに共感した接し方、コミュニケーションの方法を具体的に考える教材です。

対象	教材番号	教材のタイトル <ねらい>
概ね2、3歳～6歳児の親	コ-1	「ちゃんとしてね！」で伝わってる？ <曖昧な表現では子供に伝わらないマンガを通して、子供の気持ちに共感した具体的な言葉かけや対応について考える。>
	コ-2	ほめて“楽”に子育て～悩むの中止で注視しよう～ <魔法の虫メガネで子供を見るマンガを通して、子供の気持ちに共感し子供の良いところを見つけてほめることの大切さについて考える。>
	コ-3	待つ門には福がくる！？ <支度する子供を父親が根気強く待つマンガを通して、子供の主体性を尊重し自分でできるよう待つことの大切さについて考える。>
	コ-4	いきなりどなっていませんか？ <親が子供を一方的にどなるマンガの場面を通して、まず子供の気持ちを受け止め、伝えていくことの大切さについて考える。>
	コ-5	備えあれば怒りなし！？ <お店での行動を「約束」してから行くマンガを通して、事前に説明したり約束したりすることの大切さについて考える。>
	コ-6	指示より支持してみよう <子供が自分で考えたり、試したりする行動を父親が見守るマンガを通して、見守ることの大切さについて考える。>

【短時間でできる教材】★乳幼児の親を対象として「サイコロ」や「カード」で楽しく学べる教材です。

0～2歳児の親	ミニ-1	みんなどうしてる？～親編・親の生活編・子供の生活編～ (乳幼児期の子育てに関するテーマについて話し合うことで、親同士が結びつきかけをつくることも子育てを振り返る機会とする。)
	ミニ-2	デジタル時代の子育て～スマホの使い方 みんなどうしてる？～ (スマートフォン等のデジタル機器の見せ方や遊ばせ方について話し合い、スマホ時代の子育てについて考える。)